様式１（小・中）

**【小学校・中学校・義務教育学校用】**

令和□□年度学校評価 計画

| 達成度（評価） |
|---|
| Ａ：十分達成できている |
| Ｂ：おおむね達成できている |
| Ｃ：やや不十分である |
| Ｄ：不十分である |

| 学校名 | 佐賀市立松梅中学校 |
|---|---|
| 1　前年度<br>評価結果の概要 | ・地域連携においては、ＣＳをはじめ、地域人材の協力などが多々あり、将来、ふるさと松梅を担うであろう児童生徒の育成ができた。<br>・地域・保護者とともにおこなう学校行事では、効率化のために内容を精選し、職員の働き方改革につながった。<br>・小中一貫教育をさらに深め、学力向上に重点をおき、進路の保障を目標に、基礎学力を定着させるための取り組みや指導法の工夫を校内研究を中心に取り組んでいく。 |
| 2　学校教育目標 | **ふるさと松梅を担う心身ともに調和のとれた子どもの育成** |
| 3　本年度の重点目標 | **①　小中一貫教育の中で、個に応じた子ども理解の上に立ち、多面的・多角的視点で学習支援を工夫し、基礎・基本の学力の定着・学習習慣の確立を図る。**<br>**②　地域との連携を充実し、「松梅学」を深化させ、地域貢献事業を積極的に実施する。** |

**4　重点取組内容・成果指標**　　**中間評価**　　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

| 重点取組 | | | 具体的取組 | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 評価項目 | 取組内容 | 成果指標<br>（数値目標） | | 進捗度<br>（評価） | 進捗状況と見通し | 達成度<br>（評価） | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ○学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上 | ・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 | B | ・マイプランを作成し、それぞれで取り組んでいる。マイプランが達成できたという教師は67%。<br>・校内研修での共有はできていない。 | | ・ | | ・ | 学力向上対策コーディネーター（主・副）<br>研究主任 |
| | ○基礎・基本の定着のため、個人カルテを利用した分かりやすい授業の実践<br><br>○小中職員による多面的・多角的生徒理解による学習指導法の工夫 | ○学期末の生徒アンケートで、「授業中、自分の考えをもつことができたか」「授業の内容が変わったか」という質問に対して肯定的な回答をする生徒の割合が80%以上。<br>○自主学習の質的向上が見られた割合が70%以上。 | ・授業導入時に「めあて」を確実に認識させ、生徒の一人学びや協働学習における発問を工夫する。<br>・個人カルテや学習相談を生かし、個に応じた家庭学習(自主学習)を取り入れる。 | B | ・学期末の生徒アンケートで、「授業中、自分の考えをもつことができたか」「授業の内容が変わったか」という質問に対して肯定的な回答をする生徒の割合が60%。<br>・自主学習の向上が見られた割合は、学年によって異なるが、平均すると60%。 | | ・ | | ・ | 学力向上対策コーディネーター（主・副）<br>研究主任 |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○道徳の授業や様々な体験活動での振り返りやアンケートで、「自己を見つめる」、「物事を多面的、多角的に考える」ことができたと回答する生徒が80%以上を目指す。 | ・道徳の授業作りについての研修、教材の共有化<br>・TTによる道徳の授業の推進<br>・特別支援学校やろう学校との交流体験の実施 | B | ・担任、副担任で教材を共有し、ティームティーチング（TT)進めることができている。<br>・生徒は他人の意見を聞き、考えの広め、深めるきっかけとなっている。また、自身の視野を広げる時間となっている。 | | ・ | | ・ | 道徳推進教師<br>人権・同和教育 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等）について組織的対応ができていると回答した教員90%以上 | ・毎月、いじめ・いのちの日に全職員がローテーションで、いじめ・いのちに関する人権講話を必ず行う。<br>・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。 | A | ・いじめ・いのちの日に当番の教師が人権講話を行っている。<br>・人権講演会についてはまだ実施されていないが、いじめアンケートについては現在いじめを受けている生徒は0であった。<br>・7月14日にいじめ防止対策拡大委員会を開催し、学校の現状等を把握し、協議した。 | | ・ | | ・ | 生徒指導主事<br>教育相談 |
| | ◎児童生徒が地域や異年齢層との交流活動を通し、夢や希望を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 | ○地域の方々との交流活動に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒75%以上<br>○Q-Uアンケート「将来の夢・目標」に関する肯定的回答が全国平均を上回る。 | ・アンケートの実施<br>・夢ノートの意識化<br>・保護者や地域の方と連携した活動の実施<br>・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。 | B | ・新型コロナウィルスによる休校、そして保護者や地域の方と連携した活動があまりできなかった。2学期は機会を増やしていきたい。 | | ・ | | ・ | 総合的な学習担当<br>教務主任<br>各教科担任 |
| ●健康・体つくり | ●「運動習慣の改善や定着化」<br>●「望ましい生活習慣の形成」 | ○授業以外で運動やスポーツを行う時間が１週間で420分以上の生徒80%以上<br>○体力テスト8項目中、5項目以上で全国平均を上回る<br><br>○「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上 | ・機会あるごとに運動やスポーツの意義や大切さを指導する。運動部活動への参加を奨励し、加入率80%以上を目指す。<br>・体育の授業の準備運動にランニングや補強運動を取り入れ、体力の向上を図る。<br>・家庭科の授業や食育の講演を通し、食の大切さを深く考えさせる。 | B | ・今年度の全校での部活動加入率は。88%であり、新入生の加入率も88%であった。体育授業や部活動指導等を通じて、スポーツの楽しさが実感でき、意欲的にスポーツに取り組む子どもを育み、体力の向上を目指したい。<br><br>・5月に中学1年生を対象とした交通安全教室を実施した。これまで生徒の交通事故の報告は受けていない。 | | ・ | | ・ | 体育主任<br>保健主事 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ○教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 | ・定時退勤日の設定と遵守<br>・週休日を含む部活動時間の適正化 | A | ・基本的に月曜日をノー部活デー、定時退勤日に設定し、実行することができた。<br>・大会前を除く、通常の部活動時間は、平日2時間程度、週休日は2時間程度、また週休日の土日のいずれかを休止することを遵守できた。 | | ・ | | ・ | 管理職 |

**●･･･県共通　○･･･学校独自　◎･･･志を高める教育**

| 5　総合評価・<br>次年度への展望 | ・<br>・<br>・ |
|---|---|